



第27回参議院議員通常選挙

この度、2025年7月20日(日)に投開票が行われました参議院議員通常選挙におきまして、当連盟の組織内候補である田中まさし氏の選挙結果についてご報告いたします。

日本理学療法士連盟 組織内候補

理学療法士 田中まさし 氏

(自由民主党公認候補)

得票数： 88,432票

比例代表 自由民主党

候補者：31名 獲得議席数：12議席



『候補者別市区町村別得票数』は
総務省ホームページ（QRコード）
より確認することができます。
お住いの地域の得票数を
ぜひご確認ください。

CHECK IT OUT



田中まさし氏は、リハビリテーション専門職のみならず日頃の政治活動でお世話になっている多くの団体からご支援をいただきましたが、得票数88,432票となり、残念ながら落選という結果となりました。



参議院議員通常選挙結果を受けて

日本理学療法士連盟 山根一人 会長より

組織内議員は他の議員とは一線を画し、私たちの身分や待遇の向上や職域の拡大に対し、100%の力を注いでくれる唯一の代弁者です。医師・看護師・薬剤師の団体は見事に当選に漕ぎ着けましたが、本選挙での敗北は3年先には確実に現れてきます。

田中まさし選挙対策本部長として大変貴重な組織内候補を落選させた旨、偏に私の不徳として、各位には心からお詫び申し上げます。

その上で、選挙総括から導かれた3年後の態勢として、

- ① リハ専門職三協会・リハ専門職三連盟・学会連合等の強固な体制
- ② 各都道府県で選挙に関わる「地区幹事」の大幅増員
- ③ 当連盟各局の強化等、本誌では方法論を記載しませんが、自身の進退をかけて取り組んでいく所存です。

上記の構築を背景に、本選挙のキャッチとなった「私たちの未来は私たちで・・・」この真意がリハビリ専門職すべての心に突き刺さり、少なくとも会員数を上回る得票数を勝ち取ること。この一心で進みたく思っています。3年先に向けたご理解ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



参議院議員通常選挙結果を受けて

7月21日、今度こそ、の悲願は残念ながら実現しませんでした。私たちにとっては業界の意思を反映するための代表を送り出す選挙でした。三度の敗戦、この結果が私たちの将来にどのような影響をもたらすことになるのか、本気で考えた方々がどのくらいいたでしょう…。今まで以上に本気かつ厳しく、ゼロからやり方、在り方などを考え直さなければならないと思います。

変革のうねりが厳しい昨今において、新たな時代を希望を持って進むのか、あるいは衰退の道を歩むのか、私たちがそのギリギリの分かれ道に立っていることだけは確かです。



理学療法士
小川かつみ 参議院議員



連盟のリハ議連への働きかけ、三団体との協働が行政を動かす



今年度及び来年度にかけて、厚生労働科学研究「医療関係職種が専門性を発揮するための卒後教育に資する研究」が実施されることになりました。これは「リハビリテーションを考える議員連盟」で要望を出してきたことで、まさに、連盟活動に関わる皆様の努力が一つ、形になって動きをみせていると言えます。同様に「リハビリテーションに関する小委員会」でも同じ文脈で意見交換されてきたことでもあります。

地域の医療・介護・福祉を支えるために、各々の専門職が知識、技術を磨き、専門性を高めることに対し、国が制度的・財政的にサポートすることの意義は大きいと考えます。



“産科理学療法”の確立を目指して

昨今、産前産後の分野で活躍する理学療法士が少しずつ増えています。まさに現場のニーズが新たな職域を顕在化するという典型例ですが、“産科理学療法”という領域はまだ日本では確立されておらず、妊娠・出産を契機とした様々な身体的トラブルに対するケアはまったくと言えるほど抜け落ちています。運動器リハビリテーションではなく、あくまで“産科理学療法料”という診療報酬上の評価を目指し、「産前産後の母体に対する身体的ケアを通じて包括的に女性支援を考える議員連盟」を設立して活動して参ります。



日本助産師会 高田昌代 会長(左から2番目)



大人の社会科見学 ～国会見学にお越しください～

小川かつみ事務所では随時、国会見学をご案内しています。職場の皆様やご友人、ご家族お誘い合わせの上、どうぞ申込フォームからお申込みください。

CHECK IT OUT



FOLLOW US

LINE



公式HP



Facebook



インスタ



Youtube

